



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 ニレコ 上場取引所 東  
コード番号 6863 URL <https://www.nireco.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中杉 真一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 佐々田 卓也 TEL 042-642-3111  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無: 有  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,389	14.4	301	68.4	359	63.6	206	68.4
2024年3月期第1四半期	2,088	18.0	179	227.2	219	165.9	122	125.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 103百万円 (△62.2%) 2024年3月期第1四半期 274百万円 (203.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	28.04	27.56
2024年3月期第1四半期	16.76	16.46

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	18,183	15,619	85.3
2024年3月期	18,573	15,825	84.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 15,515百万円 2024年3月期 15,722百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	20.00	-	42.00	62.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	24.00	-	33.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	10.3	620	15.5	680	15.4	470	26.8	63.59
通期	10,000	1.4	1,280	△7.7	1,350	△8.2	935	△7.5	126.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	7,735,849株	2024年3月期	7,735,849株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	359,137株	2024年3月期	359,137株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	7,376,712株	2024年3月期1Q	7,329,612株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は当社ホームページに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響があった一方、米国で個人消費や設備投資が増加し、ヨーロッパ地域ではGDPが成長するなど、景気の持ち直しの動きが見られました。我が国においては、雇用・所得環境が改善する下で企業の設備投資に持ち直しの動きが見られ、また、インバウンド消費が活性化するなど景気は緩やかな回復基調となりましたが、消費者物価の上昇が続きました。

当社グループ(当社及び連結子会社)の主要取引先である半導体や電子部品、鉄鋼、化学、印刷・紙加工、食品など各メーカーの設備投資は、業種により強弱はあるものの、回復基調が続きました。

このような状況の下、当社グループはいかなる環境下においても成長できる企業グループの実現に向け、引き続き当社グループのコア技術である画像処理、センシング及び光学技術の強化を進めたほか、グループ内の組織変更などを行うことで収益性の改善に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,389百万円(前年同期比14.4%増)、営業利益301百万円(前年同期比68.4%増)、経常利益359百万円(前年同期比63.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益206百万円(前年同期比68.4%増)となりました。

また、受注残高は5,657百万円(前期末比3.7%増)となりました。

なお、当社グループでは、本年4月1日に蛇行制御等について共通の技術基盤を持つプロセス事業部、ウェブ事業部を統合し、新たに制御機器事業部を発足させました。本組織変更に伴う各事業活動の実態を適切に表すよう、当第1四半期より経営区分の見直しを図り、従来「プロセス事業」「ウェブ事業」と区分していた事業を統合し「制御機器事業」とする報告セグメントの一部変更をしています。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### ①制御機器事業

売上高 1,195百万円(前年同期比3.4%減)、セグメント利益 251百万円(前年同期比38.2%増)、  
受注残高 3,383百万円(前期末比6.8%増)

鉄鋼・非鉄金属業界分野では、鉄鋼メーカーの設備投資に引き続き回復の動きが見られ、受注高・売上高ともに前年同期比で増加しました。利益面においては、利益率の高い製品の割合が高かったことにより前年同期比で増加しました。

ウェブ分野においては、二次電池業界から製造装置メーカーへの先行発注が一段落したこともあり、受注高と売上高には落ち着きが見られたものの、利益率の高い製品販売の増加や改善努力の奏功により利益面では前年同期比で大きく増加しました。

この結果、制御機器事業全体では減収増益となりました。

#### ②検査機事業

売上高 372百万円(前年同期比75.9%増)、セグメント損失 41百万円(前年同期セグメント損失49百万円)、  
受注残高 711百万円(前期末比7.2%増)

食品検査装置については納入時期の谷間となりましたが、無地検査装置分野では設備投資が安定的に推移し、受注高が順調に売上に繋がりました。その結果、売上高は前年同期比で大幅に増加し、セグメント損失については、前年同期比で減少しました。

#### ③オプティクス事業

売上高 717百万円(前年同期比45.7%増)、セグメント利益 266百万円(前年同期比40.0%増)、  
受注残高 1,397百万円(前期末比7.4%減)

半導体製造・検査装置業界向け光学部品の受注が堅調に推移する中で、売上高は高水準の期初受注残高を背景に前年同期比で大幅に増加しました。利益面においても、売上高の増加や収益性の高い製品の販売増を受け、前年同期比で大きく増加しました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて390百万円減少して18,183百万円となりました。これは主に商品及び製品の増加151百万円と、受取手形、売掛金及び契約資産の減少218百万円、投資有価証券の減少215百万円、現金及び預金の減少147百万円によるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末に比べて184百万円減少して2,563百万円となりました。これは主に未払費用の増加118百万円と、未払法人税等の減少149百万円、支払手形及び買掛金の減少97百万円によるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて206百万円減少して15,619百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の増加80百万円と、その他有価証券評価差額金の減少141百万円、退職給付に係る調整累計額の減少42百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期第2四半期および通期の連結業績予想につきましては、収益改善努力の奏功や原価率が想定を下回ったことなどにより、利益が予想を上回ることが見込まれることから、本日以下の修正を行っております。

また、業績見通しの変更に伴い、当社の株主還元目標値である連結配当性向45%以上かつ連結株主資本配当率(DOE)2.5%以上にに基づき、配当予想についても修正しております。

●連結業績予想の修正について

2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,700	420	470	320	43.38
今回発表予想(B)	5,000	620	680	470	63.59
増減額(B-A)	300	200	210	150	-
増減率(%)	6.4	47.6	44.7	46.9	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	4,531	536	589	370	50.43

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	1,200	1,270	870	117.94
今回発表予想(B)	10,000	1,280	1,350	935	126.32
増減額(B-A)	-	80	80	65	-
増減率(%)	-	6.7	6.3	7.5	-
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	9,861	1,386	1,470	1,011	137.36

●期末配当予想の修正の内容

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2024年5月14日公表)	24円00銭	30円00銭	54円00銭
今回修正予想	24円00銭	33円00銭	57円00銭
前期実績 (2024年3月期)	20円00銭	42円00銭	62円00銭

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,354,239	4,207,062
受取手形、売掛金及び契約資産	3,523,982	3,305,115
電子記録債権	652,186	670,274
有価証券	30,753	41,571
商品及び製品	1,446,213	1,597,784
仕掛品	1,059,292	1,155,205
原材料及び貯蔵品	1,039,214	1,022,182
その他	243,468	198,771
貸倒引当金	△2,097	△2,721
流動資産合計	12,347,253	12,195,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,605,238	1,591,960
機械装置及び運搬具（純額）	189,467	209,668
工具、器具及び備品（純額）	151,834	151,501
土地	1,681,056	1,681,988
建設仮勘定	—	329
有形固定資産合計	3,627,596	3,635,448
無形固定資産		
のれん	42,880	38,115
リース資産	14,734	13,253
その他	118,610	104,227
無形固定資産合計	176,225	155,596
投資その他の資産		
投資有価証券	2,071,060	1,856,009
長期貸付金	27,581	26,245
退職給付に係る資産	149,046	158,994
繰延税金資産	58,392	38,390
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	163,495	165,916
貸倒引当金	△65,790	△67,539
投資その他の資産合計	2,422,490	2,196,721
固定資産合計	6,226,313	5,987,766
資産合計	18,573,566	18,183,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	576,754	479,594
1年内返済予定の長期借入金	21,572	21,600
リース債務	5,955	5,924
未払費用	533,504	651,907
未払法人税等	302,036	152,421
未払消費税等	125,538	68,056
契約負債	145,200	221,434
役員賞与引当金	44,100	9,525
工事損失引当金	25,258	32,152
その他	218,987	257,281
流動負債合計	1,998,909	1,899,897
固定負債		
長期借入金	133,222	127,811
リース債務	9,250	7,773
繰延税金負債	291,339	255,625
役員退職慰労引当金	142,136	138,742
退職給付に係る負債	116,687	69,468
資産除去債務	56,710	64,463
固定負債合計	749,346	663,884
負債合計	2,748,255	2,563,782
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,084,630	3,084,630
資本剰余金	4,134,400	4,134,400
利益剰余金	7,446,175	7,343,195
自己株式	△252,037	△252,037
株主資本合計	14,413,169	14,310,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	969,798	828,391
為替換算調整勘定	256,035	336,530
退職給付に係る調整累計額	83,276	40,497
その他の包括利益累計額合計	1,309,110	1,205,419
新株予約権	87,083	87,083
非支配株主持分	15,947	16,538
純資産合計	15,825,311	15,619,231
負債純資産合計	18,573,566	18,183,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,088,419	2,389,908
売上原価	1,282,381	1,461,624
売上総利益	806,037	928,283
販売費及び一般管理費	626,898	626,701
営業利益	179,138	301,582
営業外収益		
受取利息	1,083	1,974
受取配当金	41,485	53,276
その他	2,702	3,587
営業外収益合計	45,271	58,837
営業外費用		
支払利息	594	689
為替差損	3,349	184
その他	823	105
営業外費用合計	4,768	979
経常利益	219,641	359,440
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	21,999	—
特別損失合計	21,999	—
税金等調整前四半期純利益	197,641	359,440
法人税等	75,015	152,234
四半期純利益	122,626	207,206
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△218	364
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,844	206,841

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	122,626	207,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,115	△141,406
為替換算調整勘定	11,447	80,721
退職給付に係る調整額	22,351	△42,778
その他の包括利益合計	151,914	△103,464
四半期包括利益	274,540	103,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,047	103,151
非支配株主に係る四半期包括利益	△506	590

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## ・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	65,135千円	66,883千円
のれんの償却額	4,764	4,764

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制御機器 事業	検査機 事業	オプティ クス事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,237,515	211,526	492,207	1,941,248	147,171	2,088,419	—	2,088,419
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,237,515	211,526	492,207	1,941,248	147,171	2,088,419	—	2,088,419
セグメント利益又は 損失(△)	182,011	△49,516	190,101	322,596	19,183	341,779	△162,641	179,138

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△162,641千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制御機器 事業	検査機 事業	オプティ クス事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,195,948	372,176	717,334	2,285,458	104,450	2,389,908	—	2,389,908
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,195,948	372,176	717,334	2,285,458	104,450	2,389,908	—	2,389,908
セグメント利益又は 損失(△)	251,598	△41,354	266,188	476,432	△8,871	467,561	△165,979	301,582

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△165,979千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「プロセス事業」、「ウェブ事業」、「検査機事業」及び「オプティクス事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、共通の技術基盤を持つ「プロセス事業」と「ウェブ事業」を統合し、リソースの集約による業務の効率化及び意思決定のスピードアップを図るため、新たに「制御機器事業」を発足させました。これにより「制御機器事業」、「検査機事業」及び「オプティクス事業」の3つへ報告セグメントを変更しました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。